



**TPMS**<sup>TM</sup>

Tire Pressure Monitoring System

**PMC-0001**

取扱説明書

保管用  
保証書付



# 目次

TPMSと空気圧管理の重要性 .....	1
製品取り扱い注意事項 .....	2
パーツリストとセンサーの外観 .....	3
アプリの外観とダウンロード方法 .....	3
センサーの取付け方法と電池の交換方法 ..	5
アプリへのセンサーの登録方法 .....	7
異常アラーム .....	8
アラーム閾値の設定 .....	10
製品規格 .....	11
トラブルシューティング .....	12
保証書 .....	13
保証規定と免責事項 .....	14

# TPMSとは

TPMS: Tire Pressure Monitoring System(タイヤ空気圧監視システム)は、タイヤの空気圧や温度を直接測定して、その情報を無線で送信し、ドライバーに知らせるシステムです。本製品は、タイヤバルブに装着することでタイヤの異常を検知して、スマートフォンにダウンロードした専用アプリに表示させるデバイスです。

## タイヤ空気圧の重要性

タイヤの空気圧を適切に管理することで、以下の効果が期待できます。


- 走行時の安全性向上
- 転がり抵抗の低減による燃費向上
- タイヤの長寿命化


タイヤの空気圧は、異常がなくても自然に少しずつ低下します。定期的に空気補充や点検を実施してください。


タイヤ温度や圧力に異常があった場合、ただちに車両を止めて整備工場などに連絡してください。


- △この記号は、警告、注意をうながす内容を示しています。
- ⊙この記号は、してはいけない行動(禁止事項)であることを示しています。
- ❶この記号は、必ず守っていただく必要がある内容を示しています。


## 取り扱い注意事項


 取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。誤った使い方をした場合、ケガや事故の原因となる恐れがあります。


 走行中のスマートフォンの操作は非常に危険です。必ず車両が停止した状態で操作してください。


 製品に破損や異常が見られる場合は、ただちに使用を中止してください。ケガや事故の原因となります。

 改造や分解は絶対にしないでください。ケガや事故の原因となります。

 本製品は乗用車用です。トラック、バスやオートバイなどの車両には使用しないでください。

 本製品は一般公道の法定速度以下での使用を前提に設計されており、サーキット走行などの過酷な用途では使用できません。

 本製品は日本国内の電波法に適合しています。海外では使用しないでください。

 タイヤバルブは使用環境によって劣化します。本製品を使用する前に、タイヤバルブを点検して、異常がある場合は新品に交換してください。また、タイヤ交換時にはタイヤバルブを新品に交換してください。

## パーツリスト



TPMSセンサー×4



盗難防止用ナット×4



スパナ×1

注意

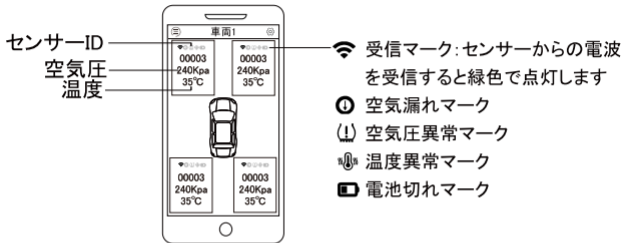


スパナはTPMSセンサーの脱着に必要ですので、装着が終わっても捨てないでください。

## センサーの外観



## アプリの外観



## アプリのダウンロード方法

方法1: 右の二次元コードから製品HPにアクセスしてダウンロードする。

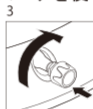
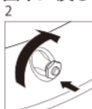
方法2: iPhone は App Store、Android は Google Play ストアにアクセスし、「PACIFIC TPMS (PMC)」で検索してダウンロードする。



# センサーの取付方法

## >>センサーの取付手順

1. バルブキャップを外す
  2. 盗難防止用ナットを時計回りに奥まで回す
  3. センサーを時計回りでしっかりと締め付ける
- ※締付が緩いとセンサー脱落やエア漏れの原因となります
4. 盗難防止用ナットを反時計回りに戻し、スパナを使ってセンサーに密着させる



### 注意

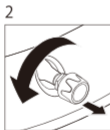
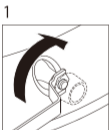
センサーを取り付けた後、センサーとバルブの間に石鹸水をかけて、空気漏れがないか確認してください。空気漏れがある場合は、盗難防止用ナットを戻して、センサーを締め直してください。締め直しても空気漏れが止まらない場合は、使用を中止してください。

降雪地帯を走行して融雪剤がセンサーとナットに付着すると、固着してセンサーが外れなくなる可能性があります。定期的にタイヤバルブからセンサーとナットを外し、融雪剤や汚れを取り除いてください。

保安基準に適合させるため、ホイール中心から前方30度、後方50度の範囲でセンサーが車両のフェンダ面より飛び出さないことを確認してください。スペーサーを使用した車両や、ホイールを変更している場合は、保安基準に適合しない場合があります。

## >>センサーの電池交換手順

1. スパナを使って盗難防止用ナットを緩める
  2. タイヤバルブからセンサーを取り外す
  3. スパナを使ってセンサーキャップを取り外す
  4. CR1632電池の+（プラス）面を上にして、奥まで差し込む
  5. スパナを使ってセンサーキャップをしっかりと取付ける
- ※締付が緩いと水が浸入して故障の原因となります



# アプリへのセンサーの登録方法

1. アプリを開き、右上の「☰」をタップして設定画面に入る。
2. 「センサーの登録」をタップする
3. ①手動入力の場合: センサーに表示されているIDを読んで入力する  
②二次元コード入力の場合: センサーに表示されているIDの二次元コードをスキャンする
4. 登録完了



①



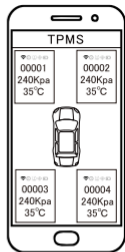
②

## 補足

1. センサーのIDと二次元コードはケースに刻印されています
2. データを受信する時は、スマホのBluetooth®機能とGPS機能をオンにする必要があります
3. 出荷時にセンサーは休止状態になっているため、車を走行させるまでデータを送信しません。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。太平洋工業は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

## 車両への装着



## 異常アラーム

>>タイヤ空気圧が正常範囲を超えた場合、または空気圧が急激に低下した場合

異常が発生したタイヤの圧力値と空気漏れマーク、空気圧異常マークが赤くなり、音声で警報します。

### 補足

タイヤ空気圧の正常範囲はデフォルトでは190kPa から 280kPaに設定されています



タイヤ空気圧のアラーム

## 異常アラーム

### >>タイヤ温度が正常範囲を超えた場合

異常が発生したタイヤの温度と、温度異常マークが赤くなり、音声で警報します。

#### 補足

タイヤ温度の正常範囲はデフォルトでは65°C以下に設定されています



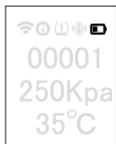
タイヤ温度異常のアラーム

### >>センサーの電池残量が少ない場合

電池残量が少ないセンサーの電池切れマークが赤くなり、音声で警報します。

#### 補足

該当するセンサーを取り外し、内部の電池を交換してください



電池切れのアラーム

# アラームの設定





1. アプリを開き、右上の「☰」をタップして設定画面に入る
2. 「システムパラメータ設定」をタップする
3. 「kPa」と「kg/cm<sup>2</sup>」をタップすると圧力単位が変わる。
4. スライダーで空気圧、温度の警報値を設定する。

←	システムパラメータ設定	ⓘ
圧力単位選択		
kPa		Kg/cm <sup>2</sup>
前輪		
空気圧上限		280
空気圧下限		190
後輪		
空気圧上限		280
空気圧下限		190
前輪		
温度上限		65°C
後輪		
温度上限		65°C
初期設定に戻す		>

## 製品仕様

製品型式	PMC-0001
送信周波数	2.4GHz ※電波法適合品
寸法	直径21mm× 高さ17mm
重量	8g (電池含む)
動作温度範囲	-20~80°C
使用圧力範囲	0~450Kpa
電源	CR 1632電池 (1輪あたり1個)
連続使用日数	約10カ月 ※使用環境により異なります

# トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対策
空気圧、温度情報が表示されない、更新されない	Bluetooth機能がOFFになっている、使用が許可されていない	スマートフォンのBluetooth機能をONにして、使用する権限を与えてください
	走行していない	時速20km以上で走行すると自動的に更新されます
	アプリのエラー	アプリとBluetoothを再起動してください
	センサーの電池切れ	センサーの電池を新品に交換してください
アプリを起動してもメイン画面にならない	GPS機能がOFFになっている、使用が許可されていない	スマートフォンのGPS機能をONにして、使用する権限を与えてください ※Bluetooth機能を使用するためにはGPS機能もONにすることが要求されています
空気圧、温度のアラームが鳴る	アラームの設定値が高い、または低い	アラームの設定値を変更してください ※設定変更前にタイヤの状態を確認してください
運転を開始するときに空気圧が低下している	自然空気圧低下 	タイヤの空気圧は、異常がなくても自然に少しずつ低下します。定期的に空気補充や点検を実施してください。
	外気温変化の影響 	タイヤの空気圧は温度によって変化し、外気温が低いときは空気圧は低下します。走行してタイヤが温まることで、空気圧は上昇します。
走行中に徐々に空気圧が低下する(スローリーク)	タイヤの異常 	安全なところに車を停車し、タイヤとタイヤバルブ周辺を点検してください。タイヤに異常が見られる場合は、整備工場などに相談してください。
	バルブやセンサーの異常 	安全なところに車を停車し、タイヤとタイヤバルブ周辺を点検してください。タイヤバルブ周辺に異常が見られる場合は、センサを外して、整備工場などに相談してください。

# 保証書

TPMS PMC-0001

お買い上げ日

住所

お名前

お電話

レシート貼付け欄

# 保証規定

- ・保証期間はご購入日より6カ月となります。
  - ・保証期間内であっても、下記のような場合は有償修理となります
1. 保証書とレシートを(購入日が確認できるもの)をご提示いただけない場合
  2. 正しく使用されていない場合、あるいはそれが強く疑われる場合
  3. 改造や不当な修理が行われている場合
  4. 火災や地震、風水害などの自然災害で不具合が発生した場合

# 免責事項

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害について、弊社は民事・刑事上の責任を負わないものとします。

太平洋工業株式会社  
〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町100番地  
[お問い合わせ先]  
右記二次元コードもしくは、専用ホームページから、  
お問い合わせフォームにて必要事項を記入下さい。

